

# 子供たちにSDGsの意識を育むために

始良市立重富小学校



重富海岸に生息する生き物を観察する児童



重富小校区にある愛宕神社



地域の史跡等を見学し、気付いたことをメモにする児童

## SDGsの取組

重富小学校は、児童数675人、PTA戸数494戸、創立134年を迎える歴史と伝統ある学校です。  
子供たちは、大正時代に県庁より移設された正門をくぐり、島津義弘公の居館・平松城跡地に建つ校舎で、日々元気いっぱいに学んでいます。  
また、重富小PTA、重富校区コミュニティ協議会も活動が盛んで、今回は、SDGsを意識した「重富小教育活動」「重富小PTA活動」「重富校区コミュニティ協議会活動」について紹介をします。

### 4年生 重富の環境を考えよう

4年生は、「剣の平太イム」(総合的な学習の時間)における「重富の環境を考えよう」の学習で、重富海岸を中心とした生き物の生息状況や環境問題について調べる学習をしています。

### 2年生 町探検

2年生は、生活科の「町探検」の学習において、地域のゲストティチャーを招いて、重富小校区の歴史や建物等の由来について調べる学習をしています。

この学習を通して、子供たちは、身近な環境はどうなっていて、今後自分たちにできることはどんなことがあるのかについて考え、「住み続けられるまちづくりを」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」といったことについて考えを深めています。

「重富小PTA活動」時代にあった、持続可能なPTA」その本質はどういうことなのか、そこを改めて考えようというところから、一年をかけた、組織改革を行いました。そしてたどり着いた活動方針は、「できる人ができる時にできること」というものです。強制で役割を割り当てるといったことはやめ、すべての活動を自主的に参加可能な人で行うという形に切り替えたのです。登下校の見守り・読み聞かせ・広報紙制作・クリーン作戦など、得意な人や可能な人が参加するPTA活動は、想像していたよりも参加者が多く、PTAに対するイメージも刷新してくれました。

また、PTA活動への積極的な参画を促すためにICTも導入しました。

オンライン配信を併用した理事会、会場とオンラインのどちらにも参加可能なハイブリッド型での家庭教育学級、保護者向けアンケートのオンラインツール導入、また、連絡事項は主にアプリを利用することで印刷物も約80%減少し、負担軽減につながっています。

この「けんひら塾」は、各界で活躍中の講師を招き、「親子でマスターおたづけ講座」、「和食を知ろう」、「習字教室」、「みんなががってみんな」(みんなががってみんないい(人権教育))、その他、ヨガや絵画等、子供だけでなく、親子で取り組める講座となっており、今年度は全部で13講座、述べ200人を超える参加がありました。

さまざまな特技をもった講師の方々からの「スペシャル授業」を受けた子供たちは、「働きがいも経済成長も」、「人や国の不平等をなくそう」等について、体験を通して学ぶよい機会となりました。

なお、この学習は地域の方々に協力をいただき、見守られながら学習が進められています。

## PTA広報便り

### 重富小 クリーン大作戦 大成功〜

6/19(日) 100名以上の方々に参加いただき、学校がとってもきれいになりました。

低学年から高学年まで、親子で自分たちの出来る作業をそれぞれ実施していただきました。

草むしりが飽きちゃった子どもたちには、草を一輪車で集める係をお願いしている保護者さんがいらっしゃいました。

素敵な声かけだな〜と嬉しく思いました。

出来ることを、それぞれが考えて行動する！ 飽きちゃった子どもたちには、どうしたらできるかな？ 場所を変えてみる。 道具を与えてみる。 目標を変えてみる。

素晴らしいです

それぞれの目標が達成できるように、励ます、支える、アドバイスする、褒める。 そんな、色々な温かい関わり方ができたのではないのでしょうか。

PTAの作業だからしているのではなく お子さんが毎日通う学校がきれいになっていく様子を親子で共有できるのって なんだか素敵ですね♡ ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

次回は9月に 校内の環境整備を予定しております。 ワクワクすることも考えていますので 楽しみにしていてください！

### 重富小PTA広報便り

歴史と伝統に育まれてきた地域の中で、教えや願いをしっかりと受け継ぎ、新しい考えや技術を学び、取り入れてきた郷土の先人のように、新しい考えを取り入れ、地域を大切に、しっかりと地に根を張り頑張る。そして、世界へ目を向け、羽ばたく、持続可能な社会づくりにそれぞれの個性を生かして活躍する。そのような子供たちを育てるべく、小学校、PTA、校区コミュニティ協議会がそれぞれの役割をしっかりと果たし、相互に連携しながら、今後も活動の充実を図ってまいります。

### 重富校区コミュニティ協議会活動

重富校区コミュニティ協議会は、毎年、夏休みを利用して、小学校の教室で「けんひら塾」を開催しています。この「けんひら塾」は、各界で活躍中の講師を招き、「親子でマスターおたづけ講座」、「和食を知ろう」、「習字教室」、「みんなががってみんな」(みんなががってみんないい(人権教育))、その他、ヨガや絵画等、子供だけでなく、親子で取り組める講座となっており、今年度は全部で13講座、述べ200人を超える参加がありました。

さまざまな特技をもった講師の方々からの「スペシャル授業」を受けた子供たちは、「働きがいも経済成長も」、「人や国の不平等をなくそう」等について、体験を通して学ぶよい機会となりました。

PTAの在り方を模索し続けていくことこそが、「誰一人取り残さない」SDGsを意識した取組であると考え、重富小PTA活動を進めています。



けんひら塾の様子

(教頭 川崎 俊一郎)